

# 速報！ 少人数学級後退を押し戻す

## 小3～小6は35人を維持へ！

島根県教委は1月14日、県議会の委員会で、今年4月から実施予定だった少人数学級縮小計画を見直す方針を明らかにしました。1月14日付の山陰中央新報（右図）でも、報道されています。

### 私たちの運動が島根県を動かす！

具体的には、38人とする予定だった小学校3年生から6年生について、現行の35人を維持することです。県教組などが1月13日に提出した2千筆を超える署名をはじめ、この間一貫して「コロナ禍の中で計画の凍結を」と訴えた「ゆきとどいた教育をすすめる島根の会」の運動が島根県・島根県教委を動かしました。

### 県方針は不十分！

小3から小6を現行のままとする方針は大いに評価できます。しかし、今のままなら小学2年生は30人から32人に、中学2, 3年生は35人から38人になります。引き続きの運動が求められていますので、署名などのご協力をお願いします。緊急署名の最終集約日は1月29日です。2月議会の開会に合わせ、教職員・保護者・県民の願いを知事、教育長へ届けます。お手元に署名用紙がありましたら、1筆でも2筆でも事務局（県教組）までお願いします。

**島根県の小学校の学級編成基準 (1学級当たり)**

|    | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|----|--------|--------|--------|
| 小1 | 30     | 30     | 30     |
| 小2 | 30     | 32     | 32     |
| 小3 | 35     | 35     | 38→35  |
| 小4 | 35     | 35     | 38→35  |
| 小5 | 35     | 38→35  | 35     |
| 小6 | 35     | 38→35  | 35     |

(単位：人)

**島根県 少人数学級据え置き**

小3～6 国の感染対策考慮

島根県が進める少人数学級（小学校3～6年生の1級編成基準の見直しについて）学級当たりの上限人数を、2021年度以降も現行の35人に据え置く方針を決めたことが、13日分かった。子育て支援拡充に向けた財源確保のため38人とする計画だったが、新型コロナウイルスの感染防止で国が全学年で35人学級にすることを考慮した。

小学校の学級編成は現行の国基準では、小1のみ35人で、小2～小6は一律40人が上限。県はこれまで独自に小1と小2で30人、小3～小6で35人としてきた。

一方、国は20年12月、上限人数を順次引き下げ、25年度には全学年で35人学級にするなど決定。県が38人学級にしても再び35人に戻り一貫性を欠くため、現行のままとした。

また、県教職員組合など4団体でつくる「ゆきとどいた教育をすすめる島根の会」（小松雪乃代表）が13日、少人数学級編成基準の見直しについて、少なくとも来年度は凍結するよう求める署名2394筆を、丸山達也知事と新田英夫教育長宛に提出した。新型コロナウイルスの収束が見込まないことを理由としている。

が、21年度から2年間かけて小2を32人、小3～小6を38人とする案が20年2月定例県議会で了承された。

山陰中央新報（1月14日）

